

きずな

第42号

平成25年6月1日

6月の予定

6月9日(日) 13:30~16:00

まちサポの総会並びに交流サロンを開催します。交流サロンでは懇親会と中央公民館館長の海保さんに「名誉町民第1号十枝雄三氏」のお話をさせていただきます。参加費 1,000 円で、どなたでも参加出来ます。

住民協働事業始まる

平成25年4月21日 まちサポ主催 キックオフ開催



今年1年、8団体によるいろいろな活動が展開されます。あなたも参加しませんか。

各団体の事業は次の通り

多くの市民の皆様にご協働の意義をご理解いただくために、市が実施する住民協働事業のプラットフォームの役割をまちサポは担っています。今回のキックオフイベントは、市民の皆様にご協働のまちづくりにご参加いただくための第一歩として実施しました。

事業を実施する団体からの発表、みどりが丘在住の猪川史子さんのシンセサイザー演奏、安藤雄太さんの「新たな地域文化を創る市民協働がめざすものとは」がテーマの講演など、盛りだくさんのプログラムで時間が押し過ぎてしまいましたが、いいスタートが切れたと思います。これから、中間報告会・最終報告会を行う予定です。そちらも是非、見に来て下さい。

団 体 名	事 業 名
シェイクハンズ	エコキャップ活動を通じた社会参加事業
十枝の森を守る会	「十枝の森」環境保全と市内荒廃樹林の再生事業
農業を楽しむ会	家庭のてんぷら油のリサイクル
あみなび会	大網白里まち紹介DVD制作事業
児童館設立プロジェクト	「ゆめの木」運営事業
大網白里市ユニバーサル就労支援の会	駅前広場の環境美化事業
NPO法人 住み続けたいまちづくりの会	健康増進と介護予防のための「いきいき教室」全市展開事業
大網白里まちづくりサポートセンター	住民協働事業運営支援及び協働体験実施事業

戦争体験語り部の会見学旅行

戦争語り部の会では、5月16日花曇りの中見学旅行に出かけました。最初に寄ったのは東京都横網町公園。ここは陸軍被服廠跡です。関東大震災の時、ここに避難して来たたくさんの方が焼死しました。遭難者の霊を供養し、東京の復興を記念して、慰霊堂と復興記念館が建てられました。その後、東京大空襲で犠牲となった一般戦災者の霊も安置し、現在163,000体の遺骨が納められているところです。学芸員の方の説明を聞いた後、安置室の前まで入らせて頂きました。

午後からは、昭和館を尋ねました。語り部の会の方達には懐かしい昭和の時代の展示物です。見学しながら、当時の話に花が咲きました。ここは、今の子ども達が戦争の事を学びに来るところです。今の子ども達がどう学んで



て良かったとほっとしました。途中ちょっとしたハプニングもありましたが、参加したみなさまに喜んでいただけて良かったです。

いるか知って欲しくて見学先に選びました。案内の方も、「皆さんの方が良く知っていますよね。」と言いながら、案内をして下さいました。

今回の見学は二カ所でしたが、お昼くらいは観光気分を味わおうと、日の出棧橋より水上バスに乗り浅草に行きました。浅草は食べるころもたくさんあるので、自由散策にしました。バスに戻ると、「どこへ行った?」「何食べた?」が話題になりました。私は語り部の方と4人で駒形橋の浅草麦とろでバイキングを食べたのですが、これが一番の話題になりました。水上バスの降り口からは少し遠かったのですが、バスの中のみんなの反応にご案内して良かったとほっとしました。途中ちょっとしたハプニングもありましたが、参加したみなさまに喜んでいただけて良かったです。

会員団体 活動報告

これに先駆けて下見に行きましたが、ハプニング発生含めて、計画を立てるには下見が大事だと言うことを改めて感じました。



時代考

昭和で生まれ働く時代を昭和で過ごした私。今の社会の進歩の速さに驚かされるばかりです。一ヶ月の給料で自転車が一台がやると買えた時代、背広一着が二ヶ月の給料でないと買えなかった時代、初任給が一万円の時代を過ごした者にとって夢の様です。しかし、心の面を考えると充実していません。社会活動も活発でした。野原を開墾して食料増産に励んだり、工場が作られて物の生産が盛んで所得倍増計画など経済活動も旺盛でした。

今、耕作放棄地の増加でその対策、グローバル化して工場が海外に移転して行くようになり産業構造の変化、情報化IT革命、自動車社会など私たちの生活もすっかり様変わりしました。

先日電車に乗る機会があり、向かいの席の7人ブロックと4人ブロック、一人読書の残り一〇人全員携帯に夢中でした。この異様な姿 現代ではあたりまえなのかも）に驚かれられました。また、親戚の葬儀があり参列したおり、両隣には話さないとのこと、高層マンションなのでいろいろな家庭事情があって知らせるとかえって迷惑になるということ、これも驚きでした。

現代の課題として、地域コミュニティの崩壊、地域教育力の低下などが叫ばれていますが、このような社会現象を見ると、温故知新という諺を思い出しました。そして、閉塞感の漂う社会を打破して行くために、私たちの人間にそなわっている力を結集して行かなければならないと思うこの頃

まちサポ代表理事 黒川有昌

お世話になっていきます。

毛糸・手芸・生地・化粧品
ぷち・はんず
大網白里市大網32-5
0475-72-0394

安藤正義税理士事務所
大網白里市仏島91
0475-72-6188

トップマート大網店
大網白里市大網84-4
0475-70-2058

坂東三十三観音納経の旅もいよいよ終盤戦です。昨年の一月から毎月のように納経に出かけ、いつも駆け足で珍道中を繰り広げていますが、今回は少し違いました。比較的ゆっくりと回る事が出来たからです。最初に常陸太田にある二十二番札所の佐竹寺に行きました。朝早くの境内は空気が澄んで気持ち良かったです。

次は笠間市にある佐白観音へ。納経を済ませるとちようどお昼です。おいしいものを食べたい私たちですから、地元で人気のお豆腐やさんで紹介していただいたおそばやさんに行きました。おすすりだけおいしかったです。今回は時間に余裕があったので、笠間稲荷神社へ寄ることにしました。ここでも御朱印を頂き、仲見世をぶらり観光気分で歩きました。この境内にはクルミの木がたくさん植えられていたそうです。今では一本だけになりました。



だが、たくさんの実をつけるそうです。そこで、お土産にクルミの甘納豆を購入しました。さて、納経の旅の再開です。次は筑波山大御堂へ向かいました。道中山越えのくねくね道。食後のお昼寝タイムなのか車酔いなのか、車中は静かです。小学校のバス旅行で登った思い出に浸りながら、納経をし、茨城県最後の清瀧寺に行きました。これはいよいよ千葉県です。



千葉県には七カ所の札所があります。千葉寺と高倉観音には前に行ったので、残りは五カ所です。帰り道に滑川観音に寄れたので、今回の旅の締めくくりは滑川観音です。あたりはもう薄暗くなってきました。閉門間近です。でも、優しいご住職のおかげで御朱印を頂くことが出来ました。

大網に帰ると、今回一緒に行けなかったメンバーが、菩提寺のご住職に「納経の旅は事故のない旅」と話していたと教えてくれました。観音様に見守られての旅ですから、これまでの旅でも、納経の時には雨が上がっていたのもご加護のおかげと、改めて感謝しました。次回は、藤の花を愛でながら銚子へ向かいます。

郷土の歴史-15

絵馬に観る人々の願い（その3）

～「絵馬の歴史」と「大網白里市の絵馬」～
大網白里市郷土史研究会会長 古山 豊

様々な画題の登場

古代において神に何かを祈願する際には、生きた馬が儀礼として神前に献上された。生きた馬が献上できない場合は、土馬（粘土で馬形をつくり焼いたもの）や木馬等が使用されるようになり、それでも困難な場合は板立馬（板を馬型に加工したもの）、更に「絵馬」として簡略化されるようになった。このことは、江戸時代に著された『神道名月類聚抄』に見ることができる。絵馬の形が五角形なのは馬屋を意味している。

室町時代（1338-1573）の頃になると、馬図のみならず、さまざまな図柄が登場し、末期には専門家による大きな絵馬（数尺）も奉納されるようになってきた。画題は、歌の上達を願い奉納した「歌仙絵」、航行の安全を祈る「船の図」、日本・中国の「故事」、「年中行事」など広範囲なテーマの図が扱われ、人々の願いも次第に具体化し様々に変化していった。現世利益という今日的な考え方と相通じるものを読み取ることができる。

江戸時代中期の文化・文政の頃になると、庶民層にも小絵馬（幅15～30cm）が爆発的に広まり「絵馬」の全盛期を迎えた。庶民が奉納した絵馬の多くは、「女拝み図」「夫婦拝み図」（写真3）「家族拝み図」といった「拝み図」である。外に「向かい目」（眼病平癒祈願）、「乳貰い図」（乳の足りない母親が祈願）、「日の出に鷹」（祇園や八幡に子授け、安産を祈願）といった現実的なものが目立って多くなった。



（写真3）「夫婦拝み図」南今泉、稲生神社

今年もオープンガーデンを開催 主催 オープンガーデン大網白里「花フレンド」

たくさんの方に楽しんで

後援 大網白里市

いただきました。



仲間を募集中！

お庭を公開してくださる方を募集しています。お庭の大きさは関係ありません。あなたも、オープンガーデンの仲間になりませんか？

また、スタッフとして活動できる方も募集中です。毎月第一水曜日に定例会を開き、情報交換を行っています。一度のぞきに来ませんか？

毎月第1水曜日13:30～
まちサポにて

今年もたくさんの方で賑わったオープンガーデン。通年開放しているところ以外は公開が終わりました。今年も、昨年より11件も多い14件の庭をオープンすることが出来ました。3月末の椿から始まり、ツツジやボタン・あやめなど季節の移り代わりを感じながら、最後を飾るのは例年大人気のイングリッシュガーデンです。今年も、気候の関係から、どの花も予定より早く咲き始めてしまい、オープンの日までに見頃が過ぎてしまうのではと、心配しながらの公開でした。無事に皆様楽しんでいただく事が出来ほっとしています。

それから今年も特に、オープンガーデンガイドブック(25・26年度版)を作成。1冊200円でまちサポで販売しました。(オープンガーデンでお求めの場合は、記念価格で100円です)オープンガーデン「花フレンド」の旗を作り、公開時の目印にするなど、大網白里市のスタイルが見えてきたようです。

毎年いろいろな街のオープンガーデンの視察に行き、オープンガーデンの組織のこと、仲間を増やすための方法など、お庭を見せていただきながら、勉強もしています。今年も柏市に視察に行きます。「カシニワ制度」を導入して市が主導で、緑の保全に力を入れているとのこと。今から楽しみです。

オープンガーデンを見に来てくださった方、ありがとうございました。通年オープンしているところもありますので、よかったらそちらにも足をお運び下さい。

事務局より
まちサポが開所して5年目に入りました。きずなの発行部数も三〇〇部より、〇〇〇部になりました。多くの方に読んでもらいたい、公的な場所に置いていただいたり、何カ所かの区では回覧してくれたり、徐々に増えてきました。まちサポの活動を知っていただくには一番の広報紙です。もっと多くの方に読んでいただきたいと思っております。回覧して下さる自治体や店頭にご協力をお願いいたします。



あみくん、さぽちゃんの
大網白里★あれこれ

4月20日小雨模様の中、開通前の圏央道を歩いてきました。大網白里市と東金市、千葉市の3市合同のイベントで、「マリンちゃん」をはじめそれぞれの市からキャラクターも集まり、金坂市長のピストルの合図に、往復4キロのスタートです。車なら一瞬で通り過ぎてしまうところを、参加した人たちは、仲間同士家族連れなどと、写真を撮りながら、思い思いに楽しんでいました。もちろん私も、まちサポに集まるお兄様方と、パチリ！記念写真を撮りました。



大網白里まちづくりサポートセンター

大網白里市大網 32-3

TEL/FAX ; 0475-72-8278

<http://machisapo.net>

E-mail: info@machisapo.net